


香川県境から、アカマツ・クヌギ・コナラの山道を登ると、大坂峠展望台に出る。東屋からは北に瀬戸内海の島々が見渡せる。その先の山道を進むと、コシダが茂る石畳の道に入る。かつて阿波の国から讃岐の国や京の都に向かう人々があった道だ。落ち葉や枯れ枝が覆う小道を歩いて峠を下ると、やがて段々畑やみかん畑が見え、山間の集落に出る。集落のそばには昔の関所『御番所跡』があり、人々が往来した交通の要所であったことがしのばれる。その先ののどかな田園地帯を進むと、コース終点の地・犬伏に着く。

距離 8.4 km	所要時間 5 時間
体力レベル 山道の登降に対応できる体力が必要。適切なペース配分で歩こう。	技術レベル 急な登降があり、坂道を上り下りできる技術が必要。
スタート地点までのアクセス 「県道137号」「県道1号」經由して『あせび公園』駐車場で集合。 エスケーブルート有  (MAP参照)	最寄り駅・バス停 ◎START地点 鉄道 — バス — ◎GOAL地点 鉄道 JR高徳線『板野駅』から徒歩約20分 バス 徳島バス『犬伏』から徒歩約3分



大坂峠展望台から見える瀬戸内海



急な下り坂に要注意



道標を見落とさず分岐を右折



深い森へと続く橋を渡って進む



ジョガマル池を右手に見て歩く



特色
 県境近くの大坂峠展望台からは、瀬戸内海が一望できる。峠を下りて山里に入ると、昔の番所『大坂口御番所跡』があり、交通の要所であったことがしのばれる。

区間
 県境～大坂峠～大坂峠御番所跡～
 ジョガマル池～蔵佐谷～犬伏

四国のみち



省営彰

四国の国

ウォーキングガイド

歩くときの準備について

- ・体力に合うコースを選び、行き帰りの交通手段も調べて余裕のある日程を組もう。
- ・体力や山登りの技術に自信がない方は、一部分のみを選んで歩く方法もある。
- ・天気予報に注意し、悪天候が予想される場合は無理をせず予定を変更しよう。
- ・気温に合った防寒着や、急な天候の変化に備える雨具を忘れずに。

野山を歩くときのマナー

- ・空きカンやゴミは投げ捨てたりせず、ゴミ袋に入れて持ち帰ろう。
- ・山火事の原因となるタバコの投げ捨てや焚き火は絶対にやめよう。
- ・果樹園や農園の農作物、野生動植物を傷つけたり取ったりするのはやめよう。

危険な動植物にご注意を

- ・山道には人間に危害を及ぼす生き物がいる。ハチやマムシ、マダニに注意を。

問い合わせ先

徳島県 グリーン社会推進課 088-621-2263

鳴門市 観光振興課 088-684-1157

板野町 建設課 088-672-5996



四国のみち
徳島県HP

コース内には案内板、道順を示す標識、文化財などの解説板、各所に休憩所を設置している。設備の破損や道の異常箇所に気付いた場合は上記の四国のみち担当課にご連絡を。

制作 2023.3

コース周辺の見どころ

MAP A 大坂峠展望台・あせび公園



瀬戸内海国立公園の島々を一望できる絶景が眼下に広がる。遠くは香川県引田の街並みや鳴門市の海岸線までが見渡せる。数千本のあせびが群生するあせび公園は、春先に可憐な花が咲き乱れる。

MAP B 大坂口御番所跡



かつて徳島藩が各所に置いた番所の中で、最も重要な役目を果たした関所のひとつ。1644年（正保元年）から1872年（明治5年）までの約230年にわたり、高松藩との国境警備の役目を果たした。毎日曜のみ開館。

踏破認定写真 撮影ポイント

香川県境付近にある標識

No. 173



踏破制度



MAP C 大宮神社



JR高徳線『阿波大宮駅』の西に位置する小山に建つ神社。近くを流れる大坂谷川沿いには、その昔源義経が戦の最中に鎧を脱いだとされる『鎧獄』という地名が残る。義経はこの大宮神社で勝利を祈願したといわれている。

MAP D ジョガマル池



環境省指定の「日本の重要湿地500」に選ばれているため池。徳島県下ではもっとも良好な自然環境を残しているとされる。ジュンサイ群落が広がり、スプタやシズイなど水草の希少種が多く生育する。

里程表



高低差表

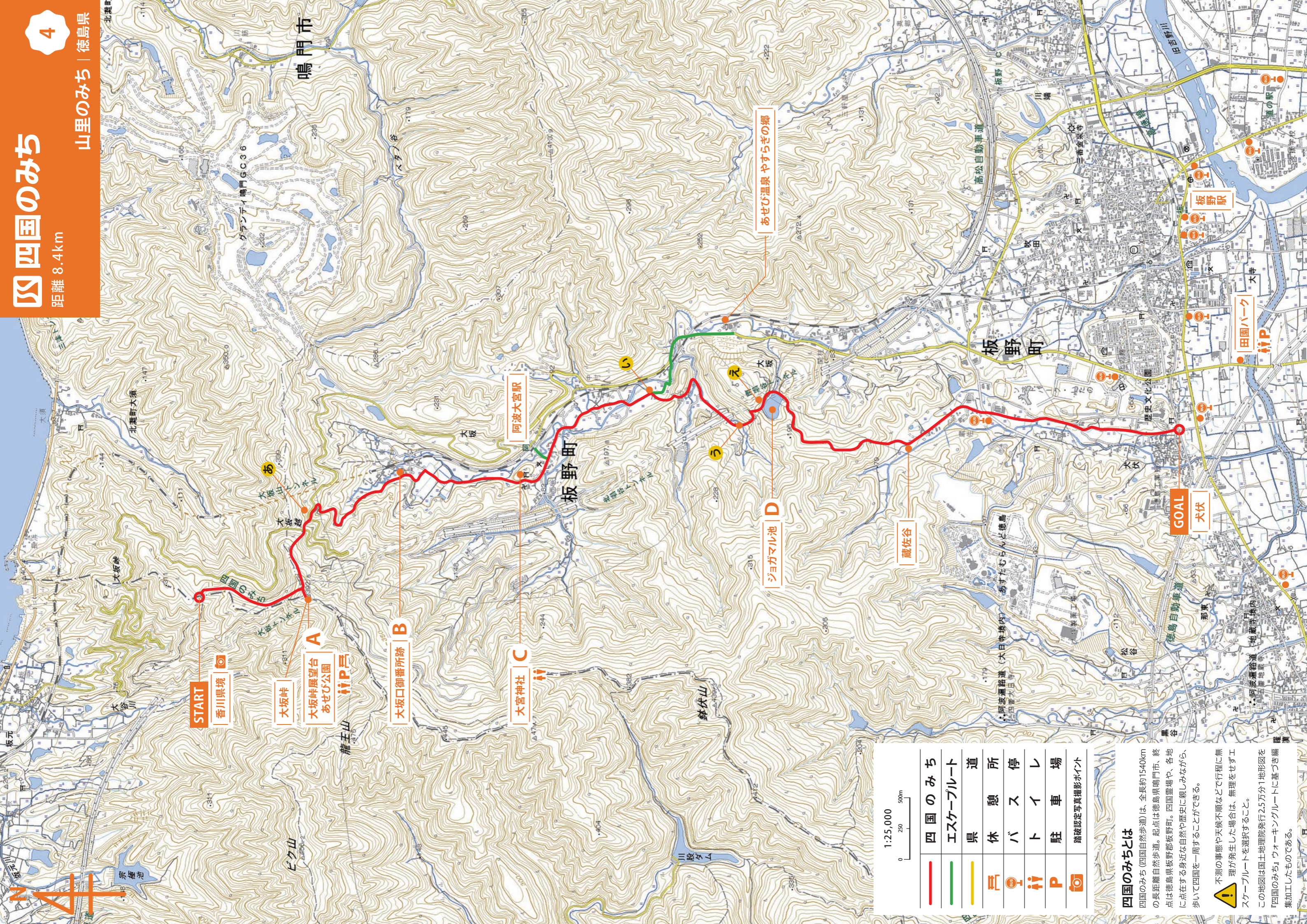


四国のみち

距離 8.4km

4

山里のみち | 徳島県



1:25,000

0 250 500m

	四国のみち
	エスケープルート
	県道
	休憩バス
	トイレ
	駐車場
	踏破認定写真撮影ポイント

四国のみちとは

四国のみち(四国自然歩道)は、全長約1540kmの長距離自然歩道。起点は徳島県鳴門市、終点は徳島県板野郡板野町。四国霊場や、各地に点在する身近な自然や歴史に親しみながら、歩いて四国一周することができる。

不測の事態や天候不順などで行程に無理が発生した場合は、無理をせずエスケープルートを選択すること。

この地図は国土地理院発行2.5万分1地形図を『四国のみち』ウォーキングルートに基づき編集加工したものである。